

WinMX や Winny などの P2P 型アプリケーション（不特定多数の人たちとデータを交換・共有するためのソフトウェア）を用いて、ネットワーク上で無断送信が禁止されている音楽 CD やソフトウェアなどを交換するという違法行為が行われ、社会的問題にもなっています。

これらの P2P 型アプリケーションは、交換されているファイルの殆どが教育・研究に必要なものが多く、加えてこれらのソフトウェア利用により学内トラフィックが増大し、通常の利用に支障をきたすこともあることから、法政大学総合情報センターでは、このような教育・研究に関係の無いソフトウェア（WinMX、Winny、Napster、Gnutella、KaZaA 等）について 2003 年 1 月 27 日付で警告を出すとともに、使用禁止にしています。

法政大学総合情報センターでは、これまでも各キャンパス情報センターを通じて、このようなネットワークを利用した違法行為を行わないよう、広報活動を行い、パソコン常設教室に設置された PC については、この種のソフトウェア利用を禁止するための手段も講じてきましたが、最近になって、本学において学内の一部ユーザが、これらのソフトウェアを使用していたことが確認され、大変遺憾に思います。

あらためて、大学の資産であるコンピュータや学内ネットワークを利用した違法行為のないように、ユーザ各位の注意を喚起します。

【警告】ファイル交換ソフト（WinMX 等）を使用した楽曲、ソフトウェアなど違法コピーの禁止について

昨今、WinMX や Winny といった「不特定多数の人とデータを交換・共有することを目的としたソフトウェア」による著作権侵害行為が社会問題となっています。

著作権の侵害防止については、日本レコード協会、日本音楽著作権協会、コンピュータソフトウェア著作権協会などから警告や通知が発信されています。

これら協会等からの著作権侵害に係わる調査依頼があった場合、総合情報センターは事実関係の調査を行なうとともに、著作権侵害などの違法行為に対しては、厳しく対処していきます。

最近では、個人でノートパソコンを持ち歩く諸君も多く見受けられるようになりましたが、管理の悪いパソコンを通じて、利用者が気づかないうちに違法行為に加担してしまうケースもあるようです。

利用者各位においては、違法行為につながるような不正利用を行わないことはもちろんのこと、コンピュータウイルスやワーム感染などにも十分注意し、無意識のうちにも他人に迷惑のかかる違法行為に及ぶことのないよう、十分ご注意ください。

なお、総合情報センターでは、これら P2P ソフトウェアに典型的な通信パターンが発見された場合、利用者特定の調査やアカウント停止措置を行う場合がありますので、ご承知おきください。

以上

(参考 URL)

文化庁 <http://www.bunka.go.jp/>

(社)日本レコード協会 <http://www.riaj.or.jp/>

(社)日本音楽著作権協会 <http://www.jasrac.or.jp/>

(社)コンピュータソフトウェア著作権協会 <http://www2.accsjp.or.jp/>

(社)著作権情報センター <http://www.cric.or.jp/>

独立行政法人 メディア教育開発センター

教育メディア著作権関連情報 <http://www.deneb.nime.ac.jp/>